

研究 Keyword

貿易論、新興国経済論、資源エネルギー・環境論

プロフィール

2006年 明治大学大学院 商学研究科 博士後期課程 修了
2007年 明治大学 商学部 兼任講師
2010年 外務省 国際情報統括官組織 ロシア専門分析員
2010年 東京農業大学 国際食料情報学部 兼任講師
2011年 公益財団法人 国際金融情報センター 主任研究員
2018年 公立小松大学 国際文化交流学部 国際文化交流学科 准教授

研究分野

経済学 / 経済政策 / 国際貿易論、ロシア経済論、資源エネルギー論

所属学協会

比較経済体制学会、日本国際経済学会

専門分野・研究分野

グローバル化の進展と 抱える課題を理解する

21世紀を迎え、もはや不可逆的な流れとして認識されてきたグローバル化の波は、世界のモノ・カネ・ヒトの空間的・時間的距離を縮めるとともに、資本主義市場経済システムの拡張を一段と促し、私たちに一定の恩恵をもたらした。しかし、その一方で、不平等の拡大、国家間の経済格差と景気低迷、環境破壊および人権侵害といった様々な問題をも生み出している。とくに、過去10数年のグローバル化の流れのなかでは、2008年の世界的な金融危機や欧州債務危機、欧州への難民流入問題とポピュリズムの隆興、英国のEU離脱、米国の保護主義と中国との覇権争い、さらには旧ソ連圏や中東での紛争といった(国民)国家、市場、市民、宗教、人種間の新たな対立構造が生み出されており、いまこそ世界経済の正確な現状把握と今後の世界を見据える能力が必要とされている。こうしたグローバル化がもたらす功罪両面を国際貿易の視座から多面的に理解しつつ解決策を模索していくとともに、世界経済における日本の地位と役割を再確認する。

研究内容

ロシア・CISおよび中・東欧を含む 新興経済諸国の研究

今日の世界経済において、急速な発展を遂げる新興経済諸国に関する分析を行っており、主に1991年に崩壊した旧ソ連構成共和国および中・東欧諸国、かつて冷戦に翻弄された東南アジア諸国、さらに中東諸国を対象国・地域として扱っている。これらの国々は、いまだ「発展途上国」と呼ばれ続けているものの、近年では世界経済における影響力を急激に高めており、政治・外交的にも無視できない存在となっている。したがって、これら新興経済諸国が歩んだ歴史と発展プロセスを理解することは不可欠であり、マクロ的視座から現状を分析し今後の展望を検討していくことを課題としている。加えて、日本企業の海外進出動向も研究対象としており、ビジネス面での新興経済諸国との関係の分析が、日本企業の積極的な海外進出へ資することを期待している。



図1. ロシア中央銀行のユダエヴァ第一副総裁と



図2. ルーマニアのヨシベル駐日大使と



シーズ・地域連携テーマ例

- 日本企業による新興経済諸国への進出のための情報発信
- 今日の世界経済情勢に関する理解
- 新興経済諸国に関する理解

論文

- 「緩やかな回復を続ける2023年のロシア経済～中長期的な低成長は不可避～」一ノ渡忠之, JOGMEC, 石油天然ガスレビュー7月号 (Web版), 2023
- 「コロナ禍におけるロシア経済の現状と見通し」, 一ノ渡忠之, ユーラシア研究, No65, 7-12, 2021
- 「2021年のロシア経済と金融政策～加速する足もとのインフレ動向～」, 一ノ渡忠之, ロシアNIS調査月報, No12, 2-12, 2021
- 「低迷するロシア経済～国家プロジェクトと対制裁の現状～」, 一ノ渡忠之, 経営センサー, 219, 36-42, 2020
- 「低迷するロシア経済～民間消費への懸念と投資拡大への期待～」, 一ノ渡忠之, 国際金融, 1326, 51-57, 2019
- 「プーチン政権下の金融政策と脱ドル化の現状」, 一ノ渡忠之, ロシアNIS調査月報Vol.64 No.4, 78-89, 2019
- 「ロシア経済の多様化に向けて～デジタル・エコノミーへの移行と期待～」, 一ノ渡忠之, 経営センサー, 196, 10-14, 2017

書籍等出版物

- 「一帯一路の政治経済学 中国は新たなフロンティアを創出するか」(分担執筆), 一ノ渡忠之, 文真堂, 2019年9月
- 「市場経済移行諸国の企業経営～ベルリンの壁から万里の長城まで」(分担翻訳), 一ノ渡忠之, 2007年6月
- 「グローバル化と国際貿易」(分担執筆), 一ノ渡忠之, 大月書店, 2006年4月

講演・口頭発表等

- 「2023年のロシア経済を振り返る」, 一ノ渡忠之, JOGMEC, ロシア・中央アジア石油・天然ガス投資環境調査委員会, 2024年4月
- 「ウクライナ侵襲後のロシア経済と世界経済への影響」, 一ノ渡忠之, 千葉県成田社会人大学, 2022年9月
- 「21年のロシア経済と今後の見通し～インフレ、金融引き締め、制裁～」, 一ノ渡忠之, JOGMEC, ロシア・中央アジア石油・天然ガス投資環境調査委員会, 2022年2月
- 「コロナ禍におけるロシア経済の現状と見通し」, 一ノ渡忠之, ユーラシア研究所総合シンポジウム, 2021年3月
- 「最近のロシア経済事情と今後の課題」, 一ノ渡忠之, 内閣府政策統括官, 2016年10月
- 「ロシア経済の現状と今後のリスク～景気後退から回復へ?～」, 一ノ渡忠之, 一般財団法人世界政経調査会, 2016年7月
- 「景気後退に直面するロシア・ウクライナ経済～足もとの景気動向と今後のリスク～」, 一ノ渡忠之, 一般財団法人貿易研修センター (11ST), IIST/中央ユーラシア調査会, 2015年9月
- 「減速するロシア経済とウクライナ危機の影響～欧米諸国による制裁リスクは消えず～」, 一ノ渡忠之, 一般財団法人世界政経調査会, 2014年7月

社会貢献活動

- 独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構 (JOGMEC) 「ロシア・中央アジア石油・天然ガス投資環境調査」委員会 委員 (2018年～現在)